

KAIROS

Cloud Service

導入ガイド

Panasonic

商標などについて

■ 商標などについて

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、iPhone は、米国 Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- YouTube は Google LLC の商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- Facebook は、Meta Platforms, Inc. の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書の見かた

■ 本書について

- 本書は、KAIROS クラウドサービスを契約された方を対象に、KAIROS クラウドプラットフォームおよび KAIROS クラウドプラットフォームと連携する製品について、概要や本サービスを利用する際のセットアップ手順などについて説明しています。

■ 本書内のイラストについて

- 本書内の製品姿図、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 表記について

- [] の語句は、パーソナルコンピューター（以下、「パソコン」）の画面に表示される内容を示しています。

■ 導入ガイドについて

- この導入ガイドのデータ（PDF 版）を用意しています。必要に応じてダウンロードしてください。

もくじ

第 1 章 概要	4	
ご使用前に	5	
セキュリティに関するお願い	5	
ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するお願い	5	
著作権について	5	
KAIROS クラウドサービスの記録可能時間について	5	
KAIROS クラウドサービス概要	6	
映像コンテンツ制作ソリューション「KAIROS クラウドサービス」とは	6	
第 2 章 システムの全体図	7	
KAIROS クラウドサービスのシステム全体図	8	
第 3 章 各製品の概要	9	
KAIROS クラウドプラットフォーム	10	
撮影機材をクラウドで統合管理・制御	10	
多彩なカメラや iPhone をメディアレスに利用	10	
クラウド上で高画質なりリモートライブ映像の制作を実現する入出力	10	
ストリーミング映像の保存や再生、ストリーミングサービスへの配信	10	
Mobile Camera (映像撮影 iPhone アプリケーション)	11	
どこからでもクラウドに簡単に接続、映像配信	11	
フル HD 撮影対応	11	
ストリーミング配信の開始や停止、タリーをクラウドからリモートで操作	11	
iPhone の映像コンテンツをクラウドにアップロード	11	
Camera Gateway (クラウド中継アプリケーション)	12	
KAIROS クラウドサービス非対応のカメラを安全かつ簡単に接続	12	
ストリーミング変換	12	
カメラをリモートで操作	12	
Kairos Creator (GUI ソフトウェア) / Kairos Control (コントロールパネル)	13	
クラウド上の Kairos Core (映像処理 / スイッチング) を制御するハードウェアコントロールパネル (Kairos Control)	13	
直観的で使いやすい GUI ソフトウェア (Kairos Creator)	13	
PTZ Control Center (カメラ遠隔制御アプリケーション)	14	
遠隔地のリモートカメラに安全かつ簡単に接続	14	
カメラレコーダーの画質調整をリモートで操作	14	
KAIROS クラウドサービス非対応カメラもリモートで操作可能	14	
Auto Downloader (他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション)	15	
クラウドから必要な素材を自動ダウンロード	15	
用途に合わせて自由に選べるダウンロード方法	15	
クラウド上の素材利用を一元管理	15	
Auto Downloader Lite (他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション)	16	
クラウドから必要な素材を自動ダウンロード	16	
用途に合わせて自由に選べるダウンロード方法	16	
クラウド上の素材利用を一元管理	16	
多彩な便利機能	16	
Streaming Player (ストリーミング再生アプリケーション)	17	
どこからでもクラウドに簡単に接続	17	
カメラやクラウド上の複数のストリーミング映像を低遅延で再生	17	
再生している映像を MOV ファイルとして保存可能	17	
第 4 章 セットアップ	18	
セットアップの流れ	19	
1. 管理者が KAIROS クラウドプラットフォームにログインし、ユーザー登録とカンパニー設定を行う。	19	
2. 手順 1 で登録されたユーザーが、KAIROS クラウドプラットフォームにログインし、任意のセットアップを行う。	19	
3. 使用するクラウド連携アプリケーションのセットアップを行う	19	
4. 使用するクラウド連携アプリケーションに応じて、KAIROS クラウドプラットフォームでの登録作業を行う。	19	
管理者による KAIROS クラウドプラットフォームのセットアップ	20	
STEP 1 : KAIROS クラウドプラットフォームへのログイン	20	
STEP 2 : ユーザー登録	20	
STEP 3 : カンパニーの設定	22	
登録ユーザーによる KAIROS クラウドプラットフォームのセットアップ	24	
STEP 1 : KAIROS クラウドプラットフォームへのログイン	24	
STEP 2 : セットアップ	24	
Mobile Camera のセットアップ	25	
STEP 1 : Mobile Camera のインストール	25	
STEP 2 : Mobile Camera の初期設定	25	
STEP 3 : KAIROS クラウドプラットフォームでの機器登録	25	
STEP 4 : ストリーミング配信先の登録	26	
STEP 5 : 映像の配信	26	
Camera Gateway のセットアップ	27	
STEP 1 : Camera Gateway のインストール	27	
STEP 2 : Camera Gateway を KAIROS クラウドプラットフォームに登録	27	
STEP 3 : カメラを Camera Gateway 経由で KAIROS クラウドプラットフォームに登録	28	
STEP 4 : ストリーミング配信先の登録	30	
STEP 5 : 映像の配信	31	
Kairos Creator のセットアップ	32	
STEP 1 : Kairos Creator のインストール	32	
STEP 2 : Kairos Creator から KAIROS クラウドプラットフォームへの接続	32	
Kairos Control のセットアップ	33	
STEP 1 : 機器の接続	33	
STEP 2 : Kairos Control から KAIROS クラウドプラットフォームへの接続	33	
PTZ Control Center のセットアップ	34	
STEP 1 : PTZ Control Center のインストール	34	
STEP 2 : PTZ Control Center の初期設定	34	
STEP 3 : PTZ Control Center を KAIROS クラウドプラットフォームに登録	34	
Auto Downloader のセットアップ	36	
STEP 1 : Auto Downloader のインストール	36	
STEP 2 : Auto Downloader の初期設定	36	
Auto Downloader Lite のセットアップ	38	
STEP 1 : Auto Downloader Lite のインストール	38	
STEP 2 : Auto Downloader Lite の初期設定	38	
Streaming Player のセットアップ	39	
STEP 1 : Streaming Player のインストール	39	
STEP 2 : Streaming Player の初期設定	39	
第 5 章 ユースケースのご紹介	40	
ユースケース : ライブ配信	41	
ユースケース : 映像ファイルの記録・管理	42	
ユースケース : ライブ映像のスイッチング・映像素材のミキシング	43	

第 1 章 概要

ご使用になる前に本章をお読みください。

ご使用前に

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、以下のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

パソコンや携帯端末のセキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがございましたら、パスワードを答えないでください。
- パソコンや携帯端末を、修理、保守、廃棄、譲渡する場合は、情報の漏えいを防ぐため、ブラウザの閲覧履歴や保存されたパスワードを消去してください。
- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本システムを使用してください。
- パソコンが接続されているシステムで本システムを使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するウイルスチェックや駆除が定期的に行われていることを確認してください。
- ストリーミングのデータ転送用プロトコルである RTMP 通信は、非暗号化プロトコルであり、第三者漏えいのリスクがあります。リスクを十分にご理解のうえでご使用ください。
- コンピューターウイルスや、不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認してください。
- 認証情報（ユーザー名、パスワード）を第三者の目に触れないよう、適切に保管してください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するお願い

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンや携帯端末と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波を受信する範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意の第三者が電波を故意に傍受し、ID、パスワード、クレジットカード番号、メールの内容などの個人情報を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意の第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウイルスを拡散しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレス LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行ってから製品を使用することで、問題が発生する可能性は少なくなります。

ワイヤレス LAN 機器は、お買い上げ時、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々のワイヤレス LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

ワイヤレス LAN 経由での当社製カメラのセキュリティ設定ができない場合は、当社サービス部門にご相談ください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

著作権について

オープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

KAIROS クラウドサービスの記録可能時間について

KAIROS クラウドサービスでは、1 ストリームあたり、最大 24 時間のストリーム記録が可能です。

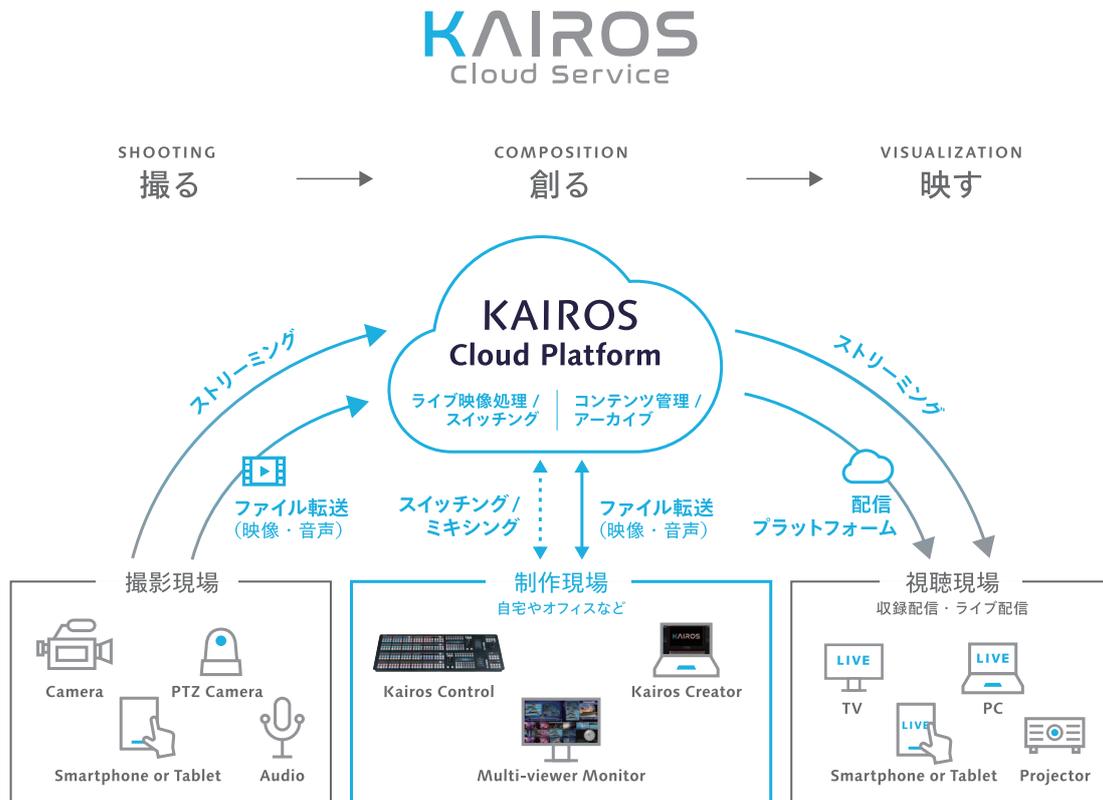
ストリーム記録時間が 24 時間を超えると、自動で記録が停止しますので、お気をつけください。

KAIROS クラウドサービス概要

映像コンテンツ制作ソリューション「KAIROS クラウドサービス」とは

KAIROS クラウドサービスは、映像コンテンツ制作現場の「撮る・創る・映す」ワークフロー全体をクラウド型で提供することで、複数拠点・リモートでの作業を可能にし、クリエイティブな映像制作を実現するサービスです。「映像制作の現場に関わる皆様によって、多くの人に感動や共感をお届けできる映像コンテンツで満たされる、そんな社会を創っていきたい」という想いから誕生しました。

映像素材と制作システムをクラウド上に置くことによって、従来のような現場集中型から複数拠点分散型のワークフローへ。時間と場所にとらわれず映像制作・配信ができる環境を提供し、よりクリエイティブで高品質な映像コンテンツを制作できる現場の実現をサポートいたします。



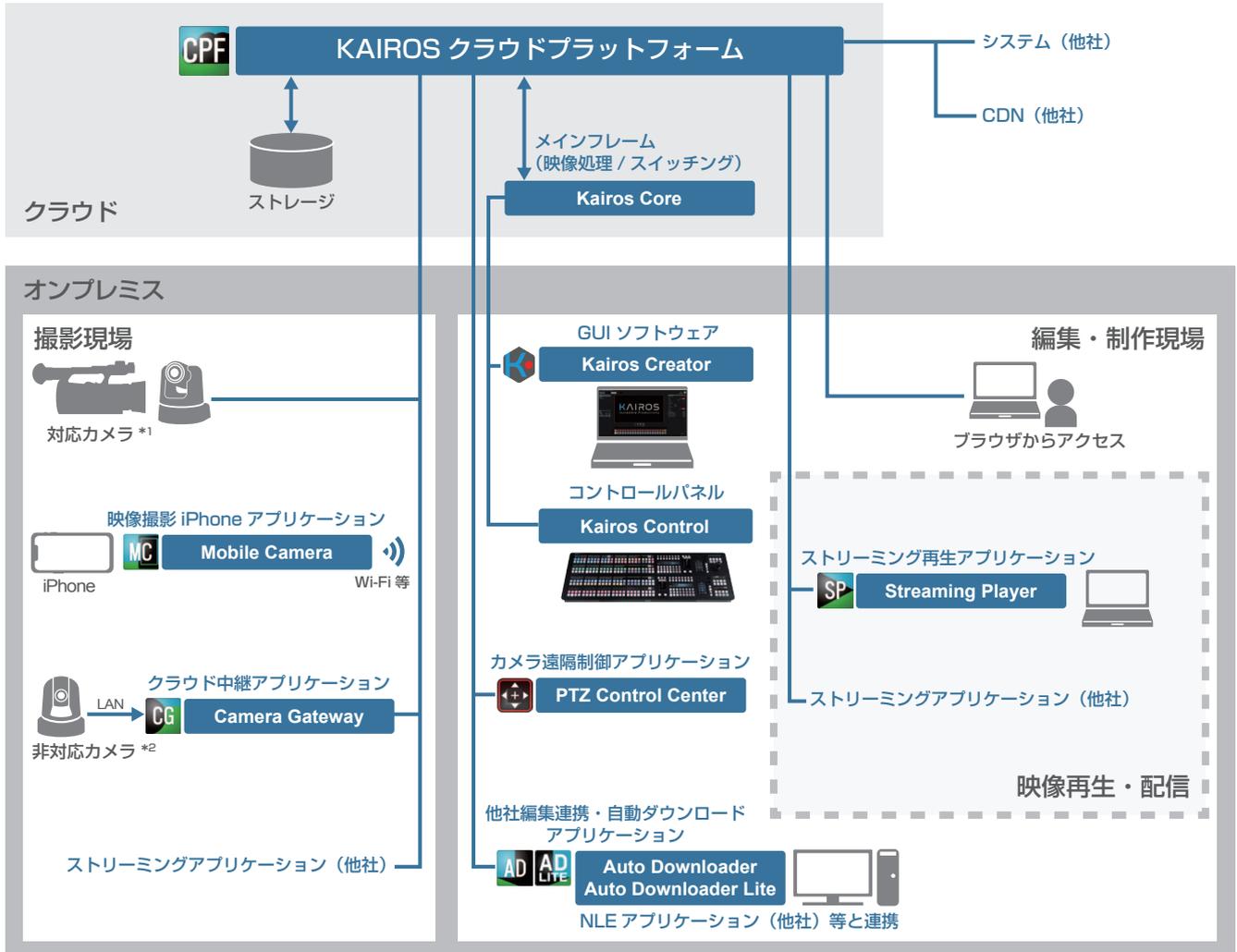
第2章 システムの全体図

KAIROS クラウドサービスのシステムの全体図について説明します。

KAIROS クラウドサービスのシステム全体図

本システムは、オンプレミスで運用している撮影機器や編集機器、映像確認するための表示機器などを、すべてクラウド上で管理・統合する KAIROS クラウドプラットフォームを中心としたシステムです。

オンプレミスで運用している各機器を KAIROS クラウドプラットフォームに接続するための複数のクラウド連携用アプリケーションを提供しています。用途に合わせて、必要なアプリケーションを選択いただけます。



*1 : KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がある Panasonic 製カメラ

*2 : KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がない Panasonic 製カメラ

■ KAIROS クラウドサービスの製品一覧

アイコン	製品名	概要	本書内の参照ページ
	KAIROS クラウドプラットフォーム	映像機器・コンテンツ・配信を一括管理・制御するクラウドアプリケーション	「KAIROS クラウドプラットフォーム」(10 ページ)
	Mobile Camera	映像撮影 iPhone アプリケーション	「Mobile Camera (映像撮影 iPhone アプリケーション)」(11 ページ)
	Camera Gateway	クラウド中継アプリケーション	「Camera Gateway (クラウド中継アプリケーション)」(12 ページ)
	Kairos Creator	クラウド上の Kairos Core を操作する GUI ソフトウェア	「Kairos Creator (GUI ソフトウェア) / Kairos Control (コントロールパネル)」(13 ページ)
—	Kairos Control	クラウド上の Kairos Core を操作するハードウェアコントロールパネル	「Kairos Creator (GUI ソフトウェア) / Kairos Control (コントロールパネル)」(13 ページ)
	PTZ Control Center	カメラ遠隔制御アプリケーション	「PTZ Control Center (カメラ遠隔制御アプリケーション)」(14 ページ)
	Auto Downloader Auto Downloader Lite	他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション	「Auto Downloader (他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション)」(15 ページ) 「Auto Downloader Lite (他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション)」(16 ページ)
	Streaming Player	ストリーミング再生アプリケーション	「Streaming Player (ストリーミング再生アプリケーション)」(17 ページ)

第3章 各製品の概要

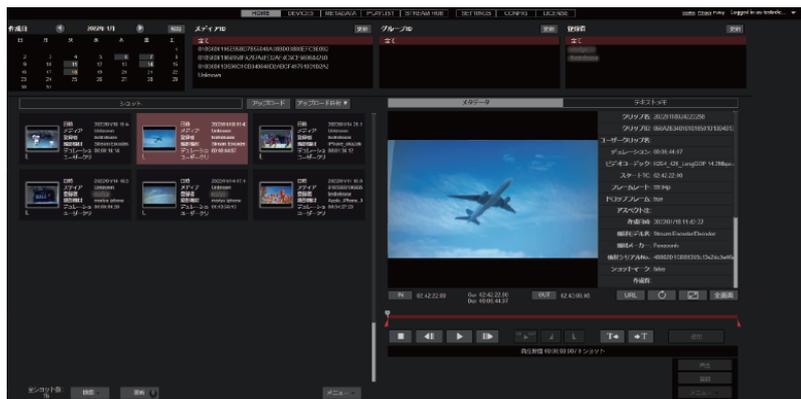
KAIROS クラウドプラットフォームと各製品（クラウド連携用アプリケーションなど）の概要について説明します。

KAIROS クラウドプラットフォーム

KAIROS クラウドプラットフォームは、ライブ配信とファイル収録・制作・配信、機器 / 映像コンテンツの管理までを一括管理・制御する統合クラウドソリューションです。KAIROS クラウドサービスの中核に位置し、KAIROS クラウドサービスの各アプリケーションと連携することにより、映像制作ワークフローをシームレスにつなぎます。



KAIROS クラウドプラットフォーム



操作画面

撮影機材をクラウドで統合管理・制御

- 複数のカメラを KAIROS クラウドプラットフォームで一括管理できます。
- カメラのステータスの確認や、ストリーミング配信の開始・停止を、リモートで制御できます。

多彩なカメラや iPhone をメディアレスに利用

Panasonic のカメラレコーダーやリモートカメラ、他社製カメラ、iPhone など、多種多彩なカメラからの映像を KAIROS クラウドプラットフォームに自動収集管理し、フォーマットに依存しないメディアレスな運用が可能です。

クラウド上で高画質なりモートライブ映像の制作を実現する入出力

- 通信プロトコルは、SRT/RTMP/RTMPS の 3 種類に対応しています。
- オンプレミスタイプの Kairos Core と同様の操作性の Kairos Core (映像処理 / スイッチング) をクラウド上に装備しています。
- KAIROS クラウドプラットフォームから映像配信先への出力設定ができます。
- KAIROS クラウドプラットフォームと Kairos Core (映像処理 / スイッチング) の間での入力・出力設定ができます。

ストリーミング映像の保存や再生、ストリーミングサービスへの配信

- ストリーミングの同時再生数は最大 10 本で、そのうち同時記録は 4 ファイルまで可能です。
- YouTube や Facebook Live などの配信サービスへのストリーミング配信ができます。

NOTE

- KAIROS クラウドプラットフォームの操作説明書については、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download
- ストリーミングのデータ転送用プロトコルである RTMP 通信は、非暗号化プロトコルであり、第三者漏えいのリスクがあります。リスクを十分に理解のうえでご使用ください。

Mobile Camera (映像撮影 iPhone アプリケーション)

Mobile Camera は、どこからでも KAIROS クラウドプラットフォームに映像を送れる映像撮影 iPhone アプリケーションです。



どこからでもクラウドに簡単に接続、映像配信

- KAIROS クラウドプラットフォームによるユーザー認証と暗号化通信を提供します。
- KAIROS クラウドプラットフォームで設定しておいた配信先などに、簡単にライブ配信を開始できます。

フル HD 撮影対応

- モバイル環境でフル HD でのライブ配信や記録ができます。

ストリーミング配信の開始や停止、タリーをクラウドからリモートで操作

- リモートでの制作を支援する機能として、KAIROS クラウドプラットフォームから、ストリーミング配信の開始・停止をリモートで操作する機能があります。
- Kairos Creator/Kairos Control でのスイッチング操作と連動し、インターネット経由で Mobile Camera にタリー情報を表示できます。

iPhone の映像コンテンツをクラウドにアップロード

- iPhone に記録済みの映像コンテンツを、KAIROS クラウドプラットフォームにアップロードできます。
- iPhone に映像を記録しながら KAIROS クラウドプラットフォームにアップロードすることもできます。

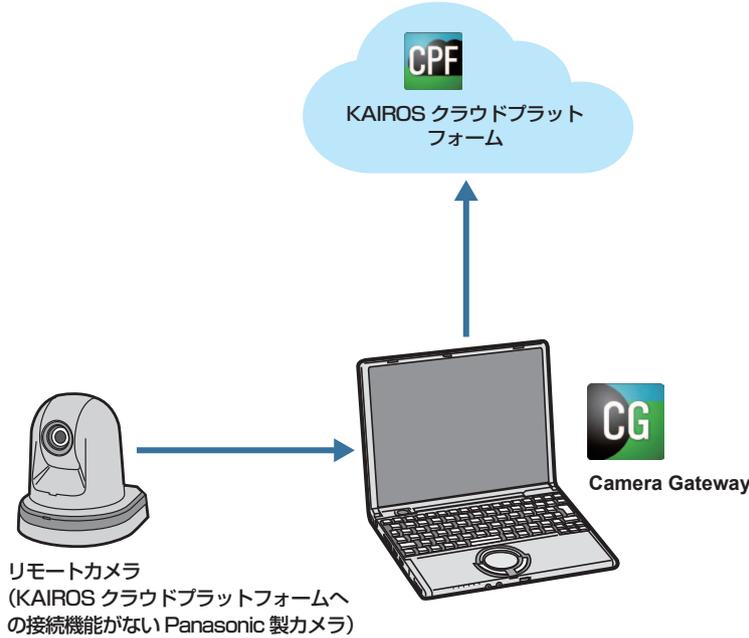
NOTE

- Mobile Camera について詳しくは、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download
また、操作方法については Mobile Camera アプリケーション内のヘルプを参照してください。

Camera Gateway (クラウド中継アプリケーション)

Camera Gateway は、KAIROS クラウドサービスに対応していないリモートカメラ*であっても、本サービスへの接続を可能とするゲートウェイアプリケーションです。

* KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がない Panasonic 製カメラです。



KAIROS クラウドサービス非対応のカメラを安全かつ簡単に接続

- 本サービス非対応のリモートカメラであっても、対応カメラと同等のユーザー認証と暗号化通信を提供します。
- カメラ自動検出機能により、同一ネットワーク上のリモートカメラを自動で検出し、KAIROS クラウドプラットフォームに接続できます。

ストリーミング変換

- RTSP 対応のリモートカメラからの映像を SRT に変換し、KAIROS クラウドプラットフォームへストリーム出力します。
 - 本サービス非対応の複数のリモートカメラからの映像を同時にストリーミング変換*し、KAIROS クラウドプラットフォームに接続できます。
- * 同時ストリーミング数は、ネットワーク環境および使用するパソコンの性能に依存します。

カメラをリモートで操作

- PTZ Control Center からリモートカメラ制御コマンドを実行することにより、KAIROS クラウドプラットフォーム経由でカメラをリモート制御できます。

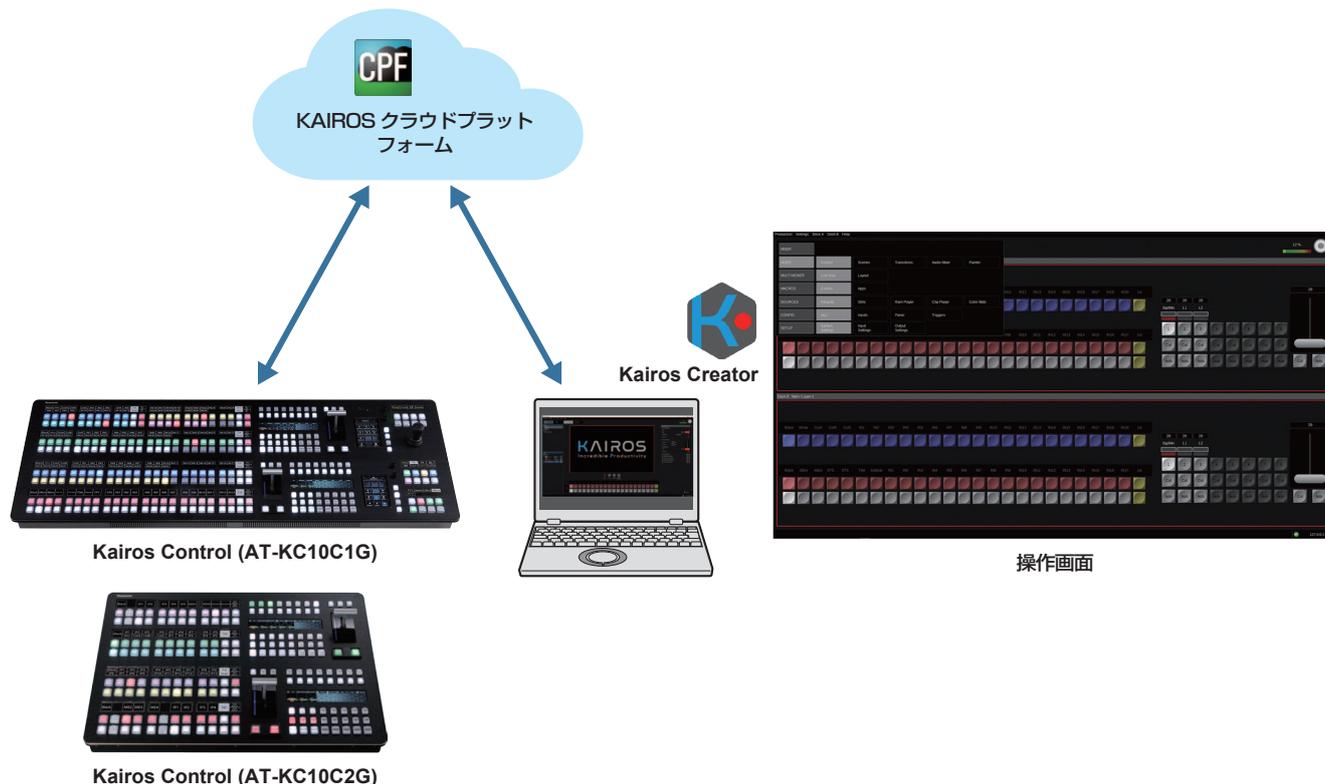
NOTE

- Camera Gateway の操作説明書については、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_cameragateway

Kairos Creator (GUI ソフトウェア) /Kairos Control (コントロールパネル)

Kairos Creator/Kairos Control は、KAIROS クラウドプラットフォーム上の Kairos Core (映像処理 / スイッチング) を操作する GUI ソフトウェア、およびハードウェアコントロールパネルです。

クラウド上の映像制作オペレーションを効率化します。



クラウド上の Kairos Core (映像処理 / スイッチング) を制御するハードウェアコントロールパネル (Kairos Control)

- Kairos Creator で Kairos Control のキーの割り当てを設定できます。(AT-KC10C1G、AT-KC10C2G)
- 2つのフェーダーを装備し、24クロスポイントスタイルのレイアウトに対して、機能を自由に割り当てることができます。(AT-KC10C1G)
- 12クロスポイントスタイルのコンパクトなコントロールパネルです。(AT-KC10C2G)

直観的で使いやすい GUI ソフトウェア (Kairos Creator)

- Windows 版と Mac 版が用意されています。
- 入出力やシーン・レイヤーなどの設定ができます。
- GUI 上でのコントロールパネル操作もできるため、省スペースでの運用に対応できます。

NOTE

- Kairos Creator/Kairos Control の操作方法などについては、KAIROS の取扱いガイドを参照してください。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_kairoscreator

PTZ Control Center (カメラ遠隔制御アプリケーション)

PTZ Control Center は、遠隔地にあるリモートカメラを KAIROS クラウドプラットフォーム経由で制御または調整することが可能なカメラ制御アプリケーションです。



遠隔地のリモートカメラに安全かつ簡単に接続

- 暗号化通信に対応したカメラ映像をどこからでも制御可能です。
- KAIROS クラウドプラットフォームを経由することで、遠隔地のリモートカメラを、ローカルネットワーク内にあるリモートカメラと同じように制御できます。

カメラレコーダーの画質調整をリモートで操作

- AG-CX350 や AJ-CX4000G などのカメラレコーダーの画質調整をリモートで操作できます。

KAIROS クラウドサービス非対応カメラもリモートで操作可能

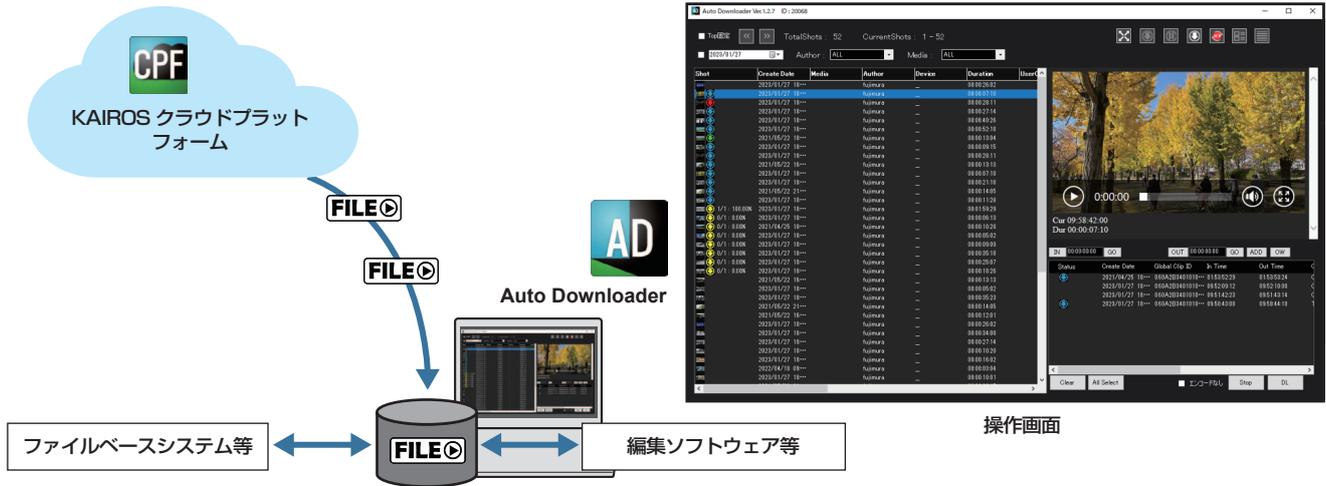
- Camera Gateway と組み合わせて使用すると、Panasonic のクラウド非対応カメラ (AW-UE70W/K) をリモートで操作できます。

NOTE

- PTZ Control Center の操作説明書については、次の Web サイトの PTZ Control Center 商品ページを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

Auto Downloader (他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション)

Auto Downloader は、クラウドとご使用のパソコンまたはシステムとをシームレスに接続し、素材の受け渡しを行うアプリケーションです。クラウド上の素材をご使用のシステムに自動でインポートしたり、必要な素材のみを編集環境に引き込んだりすることができます。



クラウドから必要な素材を自動ダウンロード

- KAIROS クラウドプラットフォーム上の素材を監視し、必要な素材を検知すると、自動でご使用の環境へダウンロードし、すぐにご利用できる状態で配置します。
- KAIROS クラウドプラットフォームで設定したユーザー単位での素材使用権限と連動し、ユーザーが必要とする素材のみの表示とダウンロードが可能です。同時に、権限のないユーザーの素材使用を制限します。
- ニアライブ* 素材のダウンロードに対応し、撮影中の素材を編集で使用できます。
- * ニアライブとは、撮影中の素材を自動で転送する機能です。

用途に合わせて自由に選べるダウンロード方法

- 指定の日または指定期間の素材のみの自動ダウンロードや、必要な素材のみの手動ダウンロードなど、用途に合わせた素材のダウンロード方法を選択できます。
- デュアル記録対応機器*の素材については、ダウンロード素材に対応する高画質素材を対応機器から転送できます。高画質素材は KAIROS クラウドプラットフォーム経由で転送する以外にも、直接ご使用の FTP サーバーに転送できます。
- 複数のファイルで構成されるニアライブ素材をダウンロードしてそのまま使用したり、複数ファイルを 1 ファイルに結合して使用したりすることができます。
- 素材の部分ダウンロードに対応しています。
KAIROS クラウドプラットフォーム上の素材の指定区間のみをダウンロードできます。
長時間の素材をすべてダウンロードすることなく、必要な部分のみをダウンロードできます。
- 使用者や日付での自動フォルダー分けダウンロードや、ダウンロード素材のファイル名自動書き換えなどが可能です。
- * 対応機器については、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloader

クラウド上の素材利用を一元管理

- ブラウザを使用することなく、KAIROS クラウドプラットフォーム上の素材の確認からダウンロード、ダウンロード状態の確認、ダウンロード素材の管理までを一元化します。
- メタデータを含めた素材の確認ができます。
- ダウンロード素材は、状態確認画面からドラッグ&ドロップで使用できます。素材のコピーや編集ソフトウェアへの連携などを簡便化します。

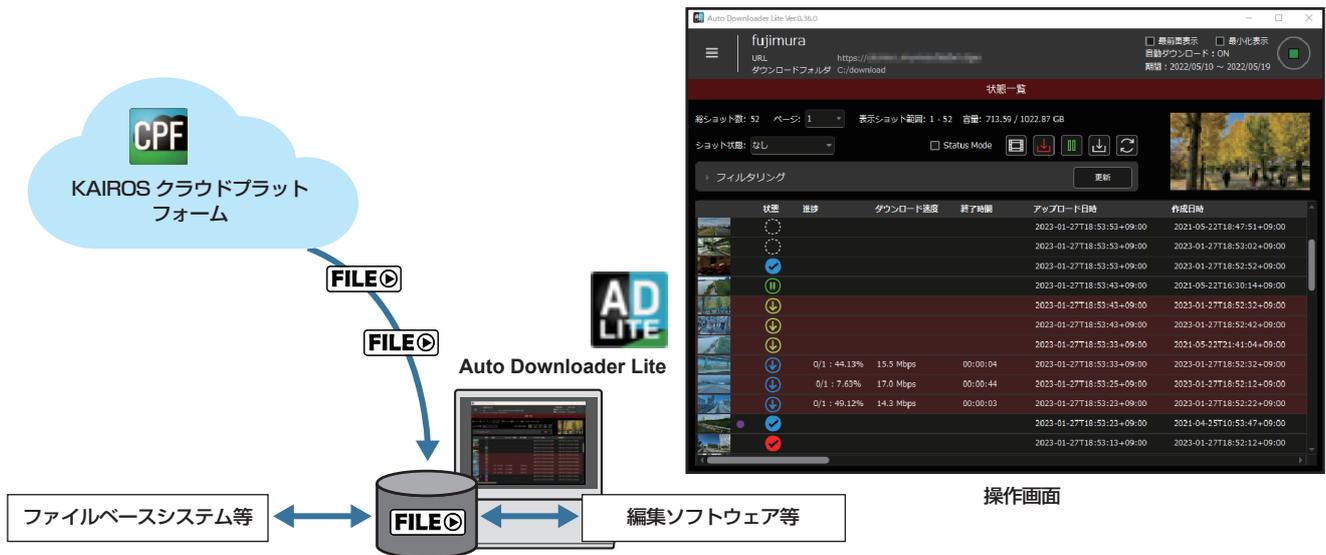
NOTE

- Auto Downloader の操作説明書については、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloader

Auto Downloader Lite (他社編集連携・自動ダウンロードアプリケーション)

Auto Downloader Lite (Mac、Windows) は、クラウドとご使用のパソコンまたはシステムとをシームレスに接続し、素材の受け渡しを行うアプリケーションです。

クラウド上の素材をご使用のシステムに自動でインポートしたり、必要な素材のみを編集環境に引き込んだりすることができます。



クラウドから必要な素材を自動ダウンロード

- KAIROS クラウドプラットフォームを監視し、素材を自動ダウンロードします。ダウンロード素材は即編集可能です。
 - KAIROS クラウドプラットフォームで設定したユーザー単位での素材使用権限と連動し、ユーザーが必要とする素材のみの表示とダウンロードが可能です。同時に、権限のないユーザーの素材使用を制限します。
 - ニアライブ* 素材のダウンロードに対応し、撮影中の素材を編集で使用できます。
- * ニアライブとは、撮影中の素材を自動で転送する機能です。

用途に合わせて自由に選べるダウンロード方法

- 指定の日または指定期間の素材のみの自動ダウンロードや、必要な素材のみの手動ダウンロードなど、用途に合わせた素材のダウンロード方法を選択できます。
- 複数のファイルで構成されるニアライブ素材をダウンロードしてそのまま使用したり、複数ファイルを1ファイルに結合して使用したりすることができます。
- 使用者や日付での自動フォルダー分けダウンロードが可能です。

クラウド上の素材利用を一元管理

- ブラウザを使用することなく、KAIROS クラウドプラットフォーム上の素材の確認からダウンロード、ダウンロード状態の確認、ダウンロード素材の管理までを一元化します。
- ダウンロード済み素材管理画面で、過去のダウンロード素材も確認できます。

多彩な便利機能

- フィルタリング機能等により、必要な素材をすばやく探し出すことが可能です。
- 素材のメタデータを確認できます。クラウド上の素材のメタデータを変更することもできます。
- ダウンロード素材は、状態確認画面からドラッグ&ドロップで使用できます。素材のコピーや編集ソフトウェアへの連携などを簡便化します。

NOTE

- Auto Downloader Lite の操作説明書については、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloaderlite

Streaming Player (ストリーミング再生アプリケーション)

Streaming Player は、KAIROS クラウドプラットフォームのライブストリーミング映像をどこからでも確認できる映像ビューアーです。



どこからでもクラウドに簡単に接続

- 暗号化通信に対応したコンテンツをどこからでも再生可能です。

カメラやクラウド上の複数のストリーミング映像を低遅延で再生

- マルチウィンドウで複数のライブストリーミング映像を同時に視聴できます。
- カメラで配信中のストリーミング映像のリストを KAIROS クラウドプラットフォーム経由で取得し、再生する映像をリストから簡単に選択できます。
- ストリーミング映像が低遅延で再生されるため、KAIROS クラウドプラットフォームなどのアプリケーションからのリモート操作や、Kairos Creator/Kairos Control でのスイッチングが快適に行えます。

再生している映像を MOV ファイルとして保存可能

- 再生しているストリーミング映像を MOV ファイルとしてパソコンに保存できます。

NOTE

- Streaming Player について詳しくは、次の Web サイトを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_streamingplayer
 また、操作方法については Streaming Player アプリケーション内のヘルプを参照してください。

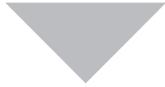
第4章 セットアップ

KAIROS クラウドサービスの導入にあたって、KAIROS クラウドプラットフォームと各製品のセットアップの流れについて説明します。

セットアップの流れ

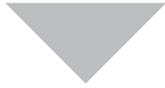
KAIROS クラウドサービスの導入にあたっては、次の流れでセットアップ作業をしてください。

1. 管理者が KAIROS クラウドプラットフォームにログインし、ユーザー登録とカンパニー設定を行う。



• 詳しくは「管理者による KAIROS クラウドプラットフォームのセットアップ」(20 ページ) を参照してください。

2. 手順 1 で登録されたユーザーが、KAIROS クラウドプラットフォームにログインし、任意のセットアップを行う。



• 詳しくは「登録ユーザーによる KAIROS クラウドプラットフォームのセットアップ」(24 ページ) を参照してください。

3. 使用するクラウド連携用アプリケーションのセットアップを行う



4. 使用するクラウド連携用アプリケーションに応じて、KAIROS クラウドプラットフォームでの登録作業を行う。

- 手順 3 と 4 の各クラウド連携用アプリケーションの手順について詳しくは、次の参照先を参照してください。(クラウド連携用アプリケーションによっては、手順 4 は不要です。)
- 「Mobile Camera のセットアップ」(25 ページ)
- 「Camera Gateway のセットアップ」(27 ページ)
- 「Kairos Creator のセットアップ」(32 ページ)
- 「Kairos Control のセットアップ」(33 ページ)
- 「PTZ Control Center のセットアップ」(34 ページ)
- 「Auto Downloader のセットアップ」(36 ページ)
- 「Auto Downloader Lite のセットアップ」(38 ページ)
- 「Streaming Player のセットアップ」(39 ページ)

管理者による KAIROS クラウドプラットフォームのセットアップ

まず、管理者が KAIROS クラウドプラットフォームにログインし、ユーザー登録とカンパニーの設定を行います。管理者とは、KAIROS クラウドプラットフォームの全機能を使用できる権限を持つユーザーのことです。

NOTE

- ここでは、必ず設定しなければならない項目について説明しています。その他の設定項目について詳しくは、KAIROS クラウドプラットフォームの操作説明書を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download

STEP 1 : KAIROS クラウドプラットフォームへのログイン

契約時にお知らせした KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

- 1 パソコンの Web ブラウザから、契約時にお知らせした URL にアクセスする。
- 2 契約時にお知らせしたユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックする。

- KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面が表示されます。

NOTE

- 契約時にお知らせしたパスワードは変更してご使用いただくことを推奨します。

STEP 2 : ユーザー登録

KAIROS クラウドプラットフォームを使用するユーザー（テレビ局や映像制作会社の映像編集者、取材現場のカメラオペレーターなど）を登録します。

- 1 ホーム画面で [CONFIG] をクリックする。



- 2 [ユーザー] をクリックし、[ID] をクリックする。

- 3 [新規登録] をクリックする。

4 ユーザーの情報を入力する。

- 次の項目は、必須入力項目です。その他の項目は、必要に応じて設定を変更してください。
 - [ユーザー ID]：ログイン時のユーザー ID です。(小文字および英数字 2 文字以上 24 文字以内)
 - [パスワード]：ログイン時のパスワードです。それぞれ同じパスワードを入力してください。(英語の大文字小文字および数字含む 8 文字以上 24 文字以内 (例：Abcd1234))
 - [名]
 - [姓]
 - [E メール]：登録するメールアドレスです。カメラオペレーターの場合、取材現場でも受信できるように携帯端末のメールアドレスを登録することをお勧めします。
 - [CONFIG>P2 デバイス 全デバイス表示と追加 / 削除 / 編集]：KAIROS クラウドプラットフォームにカメラなどの機器を登録申請する予定があるユーザーに対しては [有効] を選択してください。

ユーザー登録

ユーザーID

パスワード

名 姓

Eメール

タイムゾーン

言語

カンパニー管理

グループ管理

ユーザー管理

ライブストリーミング

STREAM HUB SETTING

コンテンツアップロード

コンテンツダウンロード

コンテンツ画像

クリップ変更

プレイリスト作成

メタデータ作成

LICENSE

CONFIG > P2デバイス 全デバイス表示と追加/削除/編集

グループの共有設定

共有グループ設定

P2デバイスグループ設定

選択済みデバイスグループ

併他設定

キャンセル 次へ

5 [P2 デバイスグループ設定] で [全ての P2 デバイス] を選択して [追加] をクリックする。



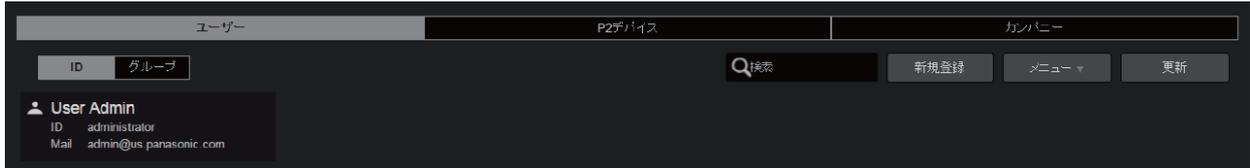
6 [次へ] をクリックする。

7 登録内容を確認し、[追加] をクリックする。

- [ユーザの登録が完了しました。] と表示されます。

8 [OK] をクリックする。

- ユーザー一覧画面に、登録したユーザーの氏名、ユーザー ID とメールアドレスが表示されます。



9 必要に応じて、手順 3 ~ 8 を繰り返し、ユーザーを登録する。

STEP 3 : カンパニーの設定

すべてのユーザーが属する組織を総称してカンパニーと呼びます。

カンパニーの設定では、次の項目を設定する必要があります。(その他の項目は任意で設定してください。)

- [通知先メールアドレス] : 管理者のメールアドレスで、サーバーの情報が通知されます。
- [承認者メールアドレス] : カメラなどの機器から KAIROS クラウドプラットフォームに登録申請があった場合に通知されるメールアドレスです。
- [STREAM HUB SETTING] : ストリーミング映像を KAIROS クラウドプラットフォームで受信するための URL の共通キーを設定します。設定した文字列は受信 URL の一部となります。
rtmp:// (ホストネーム) /live/ (STREAM HUB 共通キー) _ (ニックネーム)

1 ホーム画面で [CONFIG] をクリックする。



2 [カンパニー] をクリックする。



3 [通知先メールアドレス] のメールアドレスをクリックし、[メニュー] をプルダウンして [編集] をクリックする。



4 メールアドレスを入力して [更新] をクリックする。

5 [承認者メールアドレス] のメールアドレスをクリックし、[メニュー] をプルダウンして [編集] をクリックする。



6 メールアドレスを入力して [更新] をクリックする。

- 複数メールアドレスを設定する場合は、カンマ「,」やセミコロン「;」でメールアドレスを区切ります。

7 [STREAM HUB SETTING] の [設定] をクリックする。



8 次の項目を設定し、[更新] をクリックする。

- [STREAM HUB 共通キー]：任意のキーを半角英数字 30 文字以内で入力します。
- [STREAM HUB SRT 暗号化設定]：[ON] を選択することを推奨します。
- [STREAM HUB SRT パスフレーズ]：任意のパスフレーズを、半角英数字または記号 (-) (10 ~ 79 文字) で入力します。



登録ユーザーによる KAIROS クラウドプラットフォームのセットアップ

管理者によって KAIROS クラウドプラットフォームに登録されたユーザーが、必要な設定を行います。

STEP 1 : KAIROS クラウドプラットフォームへのログイン

管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

- 1 パソコンの Web ブラウザから、管理者から通知された URL にアクセスする。
- 2 管理者から通知されたユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックする。



The image shows a login form with two input fields: 'ユーザーID:' and 'パスワード:'. Below these fields is a button labeled 'ログイン' (Login), which is highlighted with a red rectangular border.

- KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面が表示されます。

STEP 2 : セットアップ

管理者により必ず設定しなければならない項目はすでに設定されています。用途に応じて各ユーザーが任意に必要な設定をしてください。ユーザーによって、利用できる機能や設定が異なります。

詳しくは、KAIROS クラウドプラットフォームの操作説明書を参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download

Mobile Camera のセットアップ

iPhone をネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

STEP 1 : Mobile Camera のインストール

- 1 iPhone で App Store を起動し、「Mobile Camera」を検索する。
- 2 「Mobile Camera」をインストールする。

STEP 2 : Mobile Camera の初期設定

- 1 iPhone で Mobile Camera を起動し、初期設定を行う。
 - 詳しくは、Mobile Camera アプリケーション内のヘルプを参照してください。
 - 初期設定が完了すると、Mobile Camera から KAIROS クラウドプラットフォームに、iPhone の機器登録が申請され、登録待ち状態となります。

NOTE

- Mobile Camera から機器登録を申請する旨のメールが、KAIROS クラウドプラットフォームで設定した [承認者メールアドレス] 宛てに送信されます。

STEP 3 : KAIROS クラウドプラットフォームでの機器登録

STEP 2 で申請した機器 (iPhone) を KAIROS クラウドプラットフォームに登録します。

NOTE

- この操作を行うには、KAIROS クラウドプラットフォームで機器登録できるユーザー権限が必要です。(ユーザー登録の画面で [CONFIG>P2 デバイス 全デバイス表示と追加 / 削除 / 編集] が [有効] になっている必要があります。)

- 1 パソコンの Web ブラウザから KAIROS クラウドプラットフォームにログインする。
 - 管理者から通知された URL とユーザー ID、パスワードを入力します。
- 2 KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面で [CONFIG] をクリックする。



- 3 [P2 デバイス] をクリックし、[登録デバイス] をクリックする。



- 4 [登録待ち] をクリックする。



- 5 登録したい機器を選び、[登録] をクリックする。



1	[機器種別] / [型番]	機器登録を申請したアプリケーションなどの名前が表示されます。 Mobile Camera の場合、次のとおり表示されます。 [機器種別] : Mobile Camera [型番] : iPhone
2	[申請者]	登録申請したユーザー名です。
3	[申請日時]	登録申請された日時です。

- 6 登録内容を確認し、[OK] をクリックする。

- 7 [OK] をクリックする。

STEP 4 : ストリーミング配信先の登録

映像の配信を行う前に、配信先の登録が必要です。

1 KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面で [DEVICES] をクリックする。



2 [Live] をクリックする。



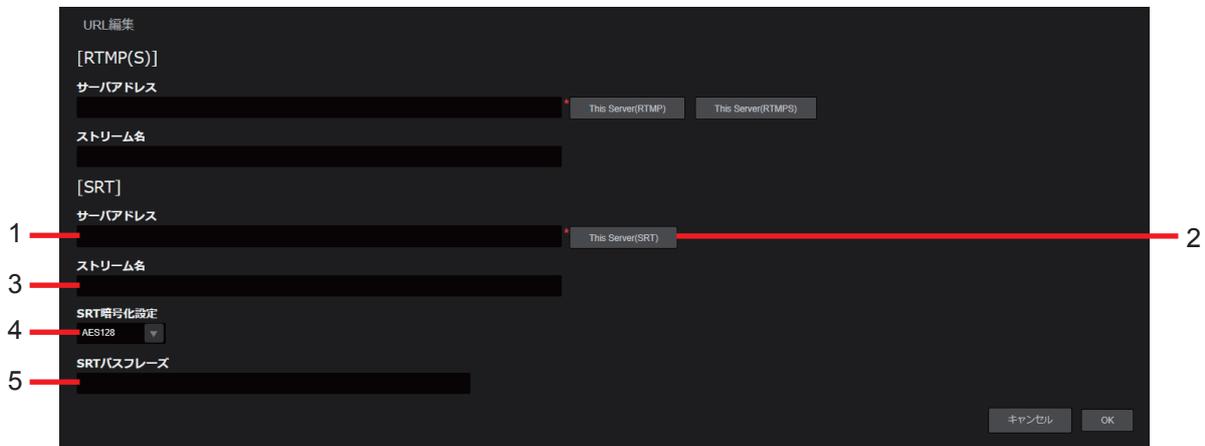
- ストリーミング配信画面が表示されます。

3 ストリーミング配信したいアイテムをクリックし、[URL 編集] をクリックする。

- Mobile Camera の場合、[型番] に iPhone と表示されます。



4 ストリーミング配信先の URL を入力し、[OK] をクリックする。



1	[サーバアドレス]	入力ボックスをクリックし、配信先のサーバーの URL を半角英数字 1024 字以内で入力します。ストリーム名が含まれている URL を入力する場合、[ストリーム名] の入力には不要です。Mobile Camera の場合、URL は srt:// をご使用ください。
2	URL 設定ボタン	クリックすると STREAM HUB 機能で使用するサーバーアドレスが設定されます。[STREAM HUB SETTING] で共通キーが設定されていない場合は設定されません。
3	[ストリーム名]	入力ボックスをクリックし、配信先のストリーム名を半角英数字 1024 字以内で入力します。
4	[SRT 暗号化設定]	暗号化形式を選択します。 [OFF] (デフォルト設定) [AES128] [AES192] [AES256]
5	[SRT パスフレーズ]	[SRT 暗号化設定] を [OFF] 以外にすると表示されます。暗号化設定のパスフレーズを入力します。 • 入力できる文字：半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダーバー) (10 ~ 79 文字以内)

STEP 5 : 映像の配信

ストリーミング配信先を登録すると、カメラからの映像をストリーミング配信、ファイル記録ができます。この配信の設定は KAIROS クラウドプラットフォームの STREAM HUB 画面から行うことができます。

詳しくは、KAIROS クラウドプラットフォームの操作説明書を参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download

Camera Gateway のセットアップ

カメラと Camera Gateway をインストールするパソコンをネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

NOTE

- EasyIP Setup Tool Plus*1 および PTZ バーチャル USB ドライバー *2 の使用制限について
同じパソコンでは、Camera Gateway と EasyIP Setup Tool Plus の同時使用、または Camera Gateway と PTZ バーチャル USB ドライバーの同時使用はできません。カメラ検出機能が動作しないことがあります。
- *1 リモートカメラの検出や設定情報の変更を行うことができる当社製のソフトウェアです。
- *2 ネットワーク上の Panasonic 製リモートカメラ、プロフェッショナルカメラレコーダーを USB カメラとして使用することができる当社製のソフトウェアです。

STEP 1 : Camera Gateway のインストール

1 パソコンの Web ブラウザから次の URL にアクセスし、インストーラーをダウンロードする。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_cameragateway

2 インストーラーを起動し、画面に従って Camera Gateway をインストールする。

- 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_cameragateway

STEP 2 : Camera Gateway を KAIROS クラウドプラットフォームに登録

Camera Gateway を KAIROS クラウドプラットフォームに登録します。

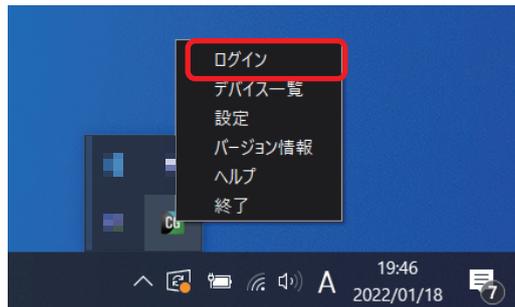
STEP 2-1 : Camera Gateway でのログイン操作

管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

1 パソコンのデスクトップで Camera Gateway アイコンをダブルクリックする。

- Windows のタスクトレイにアプリケーションが起動し、常駐します。

2 Windows のタスクトレイから Camera Gateway のアイコンを右クリックして [ログイン] をクリックする。



3 管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードを入力し、[確定] をクリックする。

- URL には「https://」を含めないでください。
- 下位のフォルダーは URL に含めないでください。

- [KAIROS クラウドプラットフォームでアプリを承認してください。] とメッセージが表示されたら、Camera Gateway から KAIROS クラウドプラットフォームに、アプリケーションの登録が申請され、登録待ち状態となります。

NOTE

- Camera Gateway から登録を申請する旨のメールが、KAIROS クラウドプラットフォームで設定した [承認者メールアドレス] 宛てに送信されます。

STEP 2-2 : Camera Gateway を KAIROS クラウドプラットフォームに登録

Camera Gateway を KAIROS クラウドプラットフォームに登録します。

NOTE

この操作を行うには、KAIROS クラウドプラットフォームで機器登録できるユーザー権限が必要です。(ユーザー登録の画面で [CONFIG>P2 デバイス 全デバイス表示と追加 / 削除 / 編集] が [有効] になっている必要があります。)

- 1 パソコンの Web ブラウザから KAIROS クラウドプラットフォームにログインする。
 - 管理者から通知された URL とユーザー ID、パスワードを入力します。
- 2 KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面で [CONFIG] をクリックする。



- 3 [P2 デバイス] をクリックし、[登録デバイス] をクリックする。



- 4 [登録待ち] をクリックする。



- 5 登録したい機器 (Camera Gateway) を選び、[登録] をクリックする。



1	[機器種別] / [型番]	機器登録を申請したアプリケーションなどの名前が表示されます。 Camera Gateway の場合、[機器種別] / [型番] とともに [Camera Gateway] と表示されます。
2	[申請者]	登録申請したユーザー名です。
3	[申請日時]	登録申請された日時です。

- 6 登録内容を確認し、[OK] をクリックする。

- 7 [OK] をクリックする。

- 8 Camera Gateway で [ログインが成功しました。] のメッセージが表示されたら、[閉じる] をクリックする。

• KAIROS クラウドプラットフォームへの登録が完了すると、Camera Gateway にログインできます。

STEP 3 : カメラを Camera Gateway 経由で KAIROS クラウドプラットフォームに登録

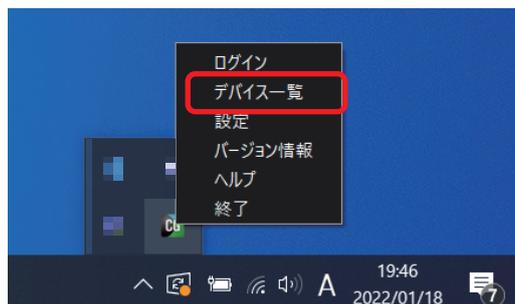
カメラを Camera Gateway 経由で KAIROS クラウドプラットフォームに登録します。

STEP 3-1 : Camera Gateway でカメラの登録申請

Camera Gateway でカメラの ID とパスワードを設定し、KAIROS クラウドプラットフォームへの登録を申請します。

あらかじめ、カメラを Camera Gateway を起動したパソコンと同一のネットワークに接続しておきます。

- 1 Windows のタスクトレイから Camera Gateway のアイコンを右クリックして [デバイス一覧] をクリックする。



2 [デバイス一覧] 画面でカメラを選択し、[管理者設定] をクリックする。

- 管理者が未設定のカメラには、が表示されます。
- [デバイス一覧] 画面について詳しくは、Camera Gateway の操作説明書を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_cameragateway



3 カメラの ID とパスワードを入力し、[確定] をクリックする。

- ID とパスワードは、リモートカメラに設定されているユーザー認証用の ID とパスワードです。
- 使用可能な文字は次のとおりです。
 ID：半角英数字、半角記号、最大 32 文字
 パスワード：半角英数字、最大 32 文字



4 Camera Gateway で [認証が成功しました。] のメッセージが表示されたら、[閉じる] をクリックする。

- Camera Gateway から KAIROS クラウドプラットフォームに、カメラの登録が申請されます。

 NOTE

- 複数台のカメラを登録する場合は、手順 2 ~ 4 を繰り返します。
- Camera Gateway から登録を申請する旨のメールが、KAIROS クラウドプラットフォームで設定した [承認者メールアドレス] 宛てに送信されます。

STEP 3-2 : カメラを KAIROS クラウドプラットフォームに登録

カメラを KAIROS クラウドプラットフォームに登録します。

 NOTE

- この操作を行うには、KAIROS クラウドプラットフォームで機器登録できるユーザー権限が必要です。(ユーザー登録の画面で [CONFIG>P2 デバイス 全デバイス表示と追加 / 削除 / 編集] が [有効] になっている必要があります。)

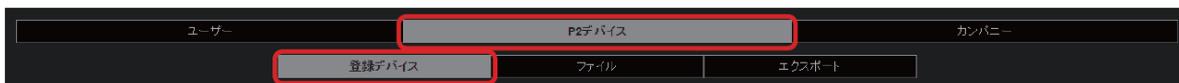
1 パソコンの Web ブラウザから KAIROS クラウドプラットフォームにログインする。

- 管理者から通知された URL とユーザー ID、パスワードを入力します。

2 KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面で [CONFIG] をクリックする。



3 [P2 デバイス] をクリックし、[登録デバイス] をクリックする。



4 [登録待ち] をクリックする。



5 登録したい機器（カメラ）を選び、[登録] をクリックする。



1	[機器種別] / [型番]	機器登録を申請したアプリケーションなどの名前が表示されます。 Camera Gateway 経由のカメラの場合、次のとおり表示されます。 [機器種別] : Camera Device [型番] : カメラの型番
2	[申請者]	登録申請したユーザー名です。
3	[申請日時]	登録申請された日時です。

6 登録内容を確認し、[OK] をクリックする。

7 [OK] をクリックする。

- Camera Gateway の [デバイスイ覧] 画面では、登録済みのカメラに  (オンライン) が表示されます。

NOTE

- 複数台のカメラを登録する場合は、手順 5 と 6 を繰り返します。

STEP 4 : ストリーミング配信先の登録

映像の配信を行う前に、配信先の登録が必要です。

1 KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面で [DEVICES] をクリックする。



2 [Live] をクリックする。



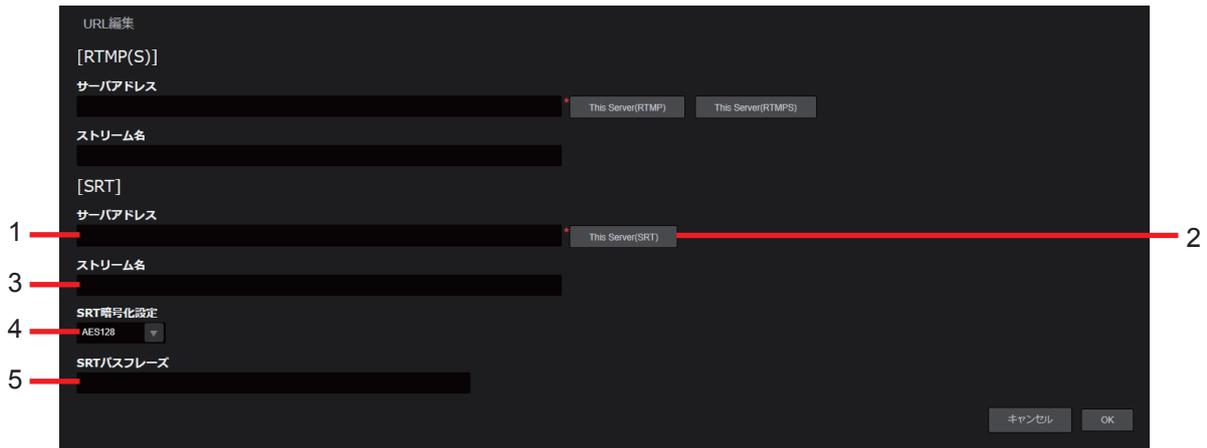
- ストリーミング配信画面が表示されます。

3 ストリーミング配信したいアイテムをクリックし、[URL 編集] をクリックする。

- Camera Gateway の場合、[型番] にカメラの型番が表示されます。



4 ストリーミング配信先の URL を入力し、[OK] をクリックする。



1	[サーバアドレス]	入力ボックスをクリックし、配信先のサーバーの URL を半角英数字 1024 字以内で入力します。ストリーム名が含まれている URL を入力する場合、[ストリーム名] の入力は不要です。Camera Gateway の場合、URL は srt:// をご使用ください。
2	URL 設定ボタン	クリックすると STREAM HUB 機能で使用するサーバーアドレスが設定されます。[STREAM HUB SETTING] で共通キーが設定されていない場合は設定されません。
3	[ストリーム名]	入力ボックスをクリックし、配信先のストリーム名を半角英数字 1024 字以内で入力します。
4	[SRT 暗号化設定]	暗号化形式を選択します。 [OFF] (デフォルト設定) [AES128] [AES192] [AES256]
5	[SRT パスフレーズ]	[SRT 暗号化設定] を [OFF] 以外にすると表示されます。暗号化設定のパスフレーズを入力します。 ● 入力できる文字：半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダーバー) (10 ~ 79 文字以内)

STEP 5 : 映像の配信

ストリーミング配信先を登録すると、カメラからの映像をストリーミング配信、ファイル記録ができます。この配信の設定は KAIROS クラウドプラットフォームの STREAM HUB 画面から行うことができます。

詳しくは、KAIROS クラウドプラットフォームの操作説明書を参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download

Kairos Creator のセットアップ

Kairos Creator をインストールするパソコンをネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

STEP 1 : Kairos Creator のインストール

1 パソコンの Web ブラウザから次の URL にアクセスし、インストーラーをダウンロードする。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_kairoscreator

2 インストーラーを起動し、画面に従って Kairos Creator をインストールする。

- 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

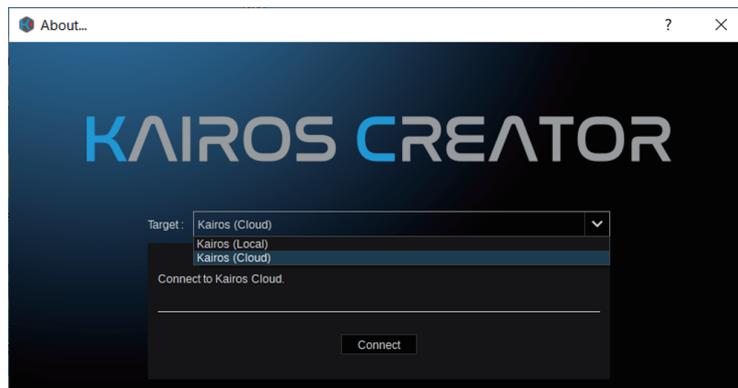
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_kairoscreator

STEP 2 : Kairos Creator から KAIROS クラウドプラットフォームへの接続

管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

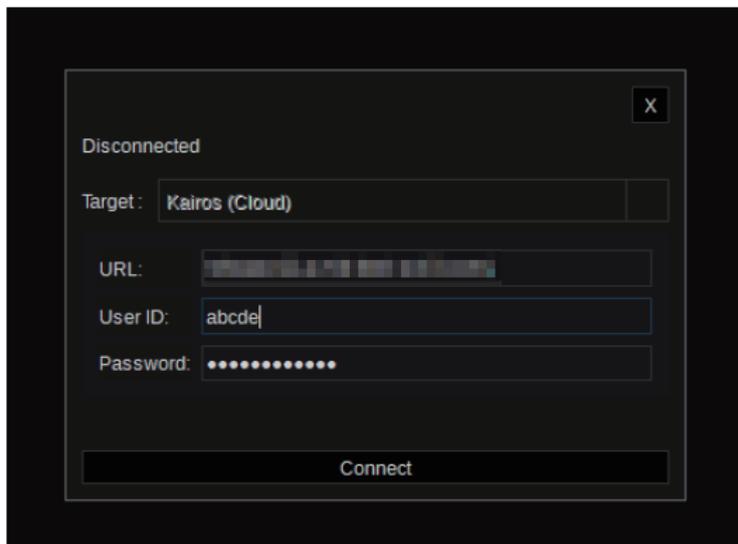
1 パソコンのデスクトップで Kairos Creator アイコンをダブルクリックして起動する。

2 [Target] で [Kairos (Cloud)] を選択し、[Connect] をクリックする。



3 管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードを入力し、[Connect] をクリックする。

- URL には「https://」を含めないでください。
- 下位のフォルダーは URL に含めないでください。



NOTE

- その他の設定項目について詳しくは、KAIROS の取扱いガイドを参照してください。

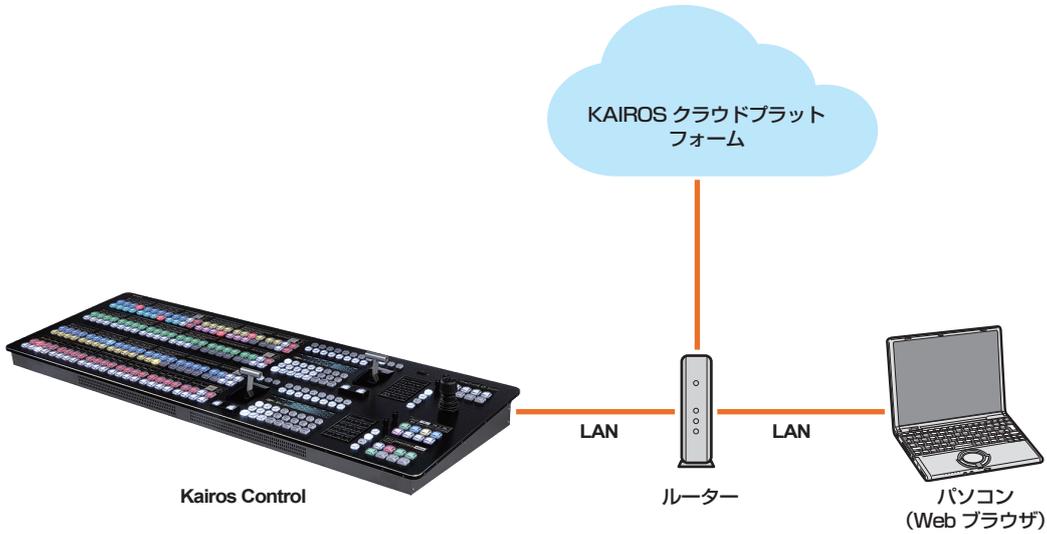
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_kairoscreator

Kairos Control のセットアップ

次の手順に従ってセットアップしてください。

STEP 1 : 機器の接続

1 Kairos Control とパソコンを KAIROS クラウドプラットフォームに LAN 接続する。



STEP 2 : Kairos Control から KAIROS クラウドプラットフォームへの接続

1 パソコンの Web ブラウザから、次の URL にアクセスする。

- `http://(Kairos Control の IP アドレス):8080/`
Kairos Control の IP アドレスは、Kairos Control の Numeric Keypad セクションの [Setting] → [IP-Addr.] で確認できます。



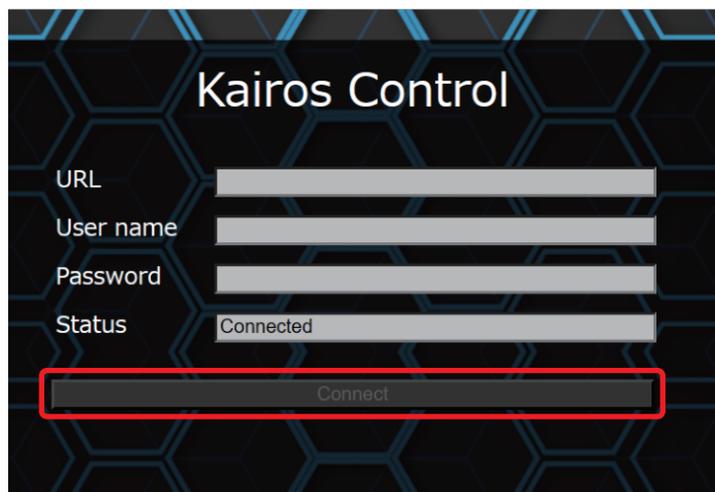
入力事例

2 Web ブラウザの認証画面で、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする。

- ユーザー名は、「Kairos」と入力します。
- パスワードは、Kairos Control で設定した「Web Password」を入力してください。
「Web Password」について詳しくは、KAIROS の取扱いガイドの「上部トランジションディスプレイの設定」を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_kairoscreator

3 [Kairos Control] 画面で、管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー名、パスワードを入力し、[Connect] または [Reconnect] をクリックする。

- KAIROS クラウドプラットフォームに接続します。



PTZ Control Center のセットアップ

カメラと PTZ Control Center をインストールするパソコンをネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

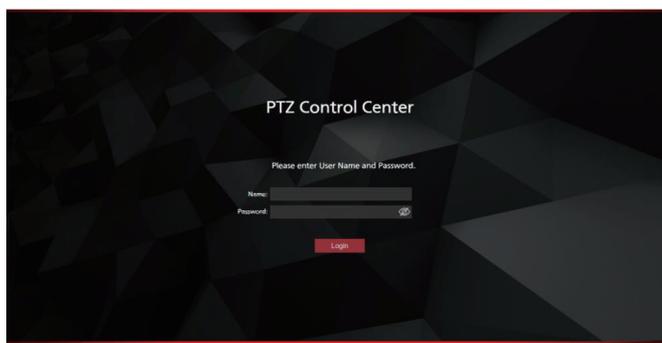
STEP 1 : PTZ Control Center のインストール

- 1 パソコンの Web ブラウザから、次の Web サイトの PTZ Control Center 商品ページにアクセスし、インストーラーをダウンロードする。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
- 2 インストーラーを起動し、画面に従って PTZ Control Center をインストールする。
 - 詳しくは、次の Web サイトの PTZ Control Center 商品ページを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

STEP 2 : PTZ Control Center の初期設定

PTZ Control Center から KAIROS クラウドプラットフォームに接続します。
 管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

- 1 パソコンのデスクトップで PTZ Control Center アイコンをダブルクリックして起動する。
- 2 初回起動時、Windows ファイアウォールの設定画面が表示されたら、すべてのネットワーク設定（ドメイン / プライベート / パブリック）にチェックを入れる。
- 3 [Name] と [Password] に次の内容を入力し、[Login] をクリックする。
 - [Name] : Admin
 - [Password] : Admin



- 4 View 画面が表示されるので、左上の  (Setting) をクリックする。
- 5 Setting 画面で [Cloud] タブをクリックする。
- 6 管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードを入力し、[Connect] をクリックする。
 - 初期設定が完了すると、PTZ Control Center から KAIROS クラウドプラットフォームに、アプリケーションの登録が申請されます。

NOTE

- PTZ Control Center から登録を申請する旨のメールが、KAIROS クラウドプラットフォームで設定した [承認者メールアドレス] 宛てに送信されます。
- その他の設定項目について詳しくは、次の Web サイトの PTZ Control Center 商品ページの操作説明書を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

STEP 3 : PTZ Control Center を KAIROS クラウドプラットフォームに登録

PTZ Control Center を KAIROS クラウドプラットフォームに登録します。

NOTE

- この操作を行うには、KAIROS クラウドプラットフォームで機器登録できるユーザー権限が必要です。（ユーザー登録の画面で [CONFIG>P2 デバイス 全デバイス表示と追加 / 削除 / 編集] が [有効] になっている必要があります。）
- 1 パソコンの Web ブラウザから KAIROS クラウドプラットフォームにログインする。
 - 管理者から通知された URL とユーザー ID、パスワードを入力します。
 - 2 KAIROS クラウドプラットフォームのホーム画面で [CONFIG] をクリックする。



3 [P2 デバイス] をクリックし、[登録デバイス] をクリックする。



4 [登録待ち] をクリックする。



5 登録したい機器 (PTZ Control Center) を選び、[登録] をクリックする。



1

2

3

1	[機器種別] / [型番]	機器登録を申請したアプリケーションなどの名前が表示されます。 PTZ Control Center の場合、[機器種別] / [型番] とともに「PTZCC」と表示されます。
2	[申請者]	登録申請したユーザー名です。
3	[申請日時]	登録申請された日時です。

6 登録内容を確認し、[OK] をクリックする。

7 [OK] をクリックする。

Auto Downloader のセットアップ

Auto Downloader をインストールするパソコンをネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

STEP 1 : Auto Downloader のインストール

1 パソコンの Web ブラウザから次の URL にアクセスし、インストーラーをダウンロードする。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloader

2 インストーラーを起動し、画面に従って Auto Downloader をインストールする。

• 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

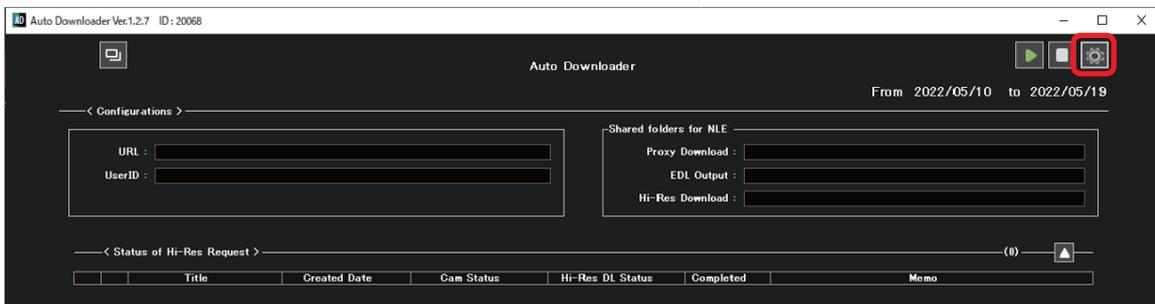
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloader

STEP 2 : Auto Downloader の初期設定

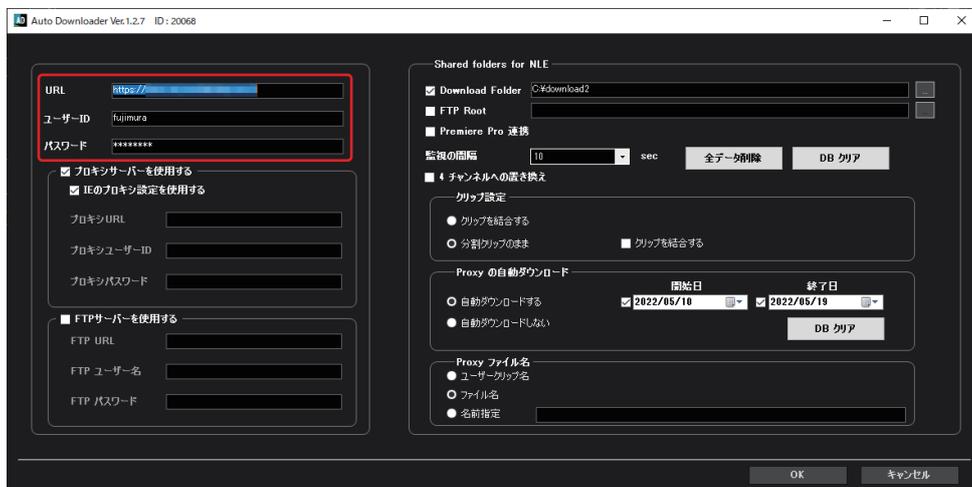
管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。
一度設定した内容は保存されるため、次回から設定する必要はありません。

1 パソコンのデスクトップで Auto Downloader アイコンをダブルクリックして起動する。

2  (設定) をクリックする。



3 管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードを入力する。



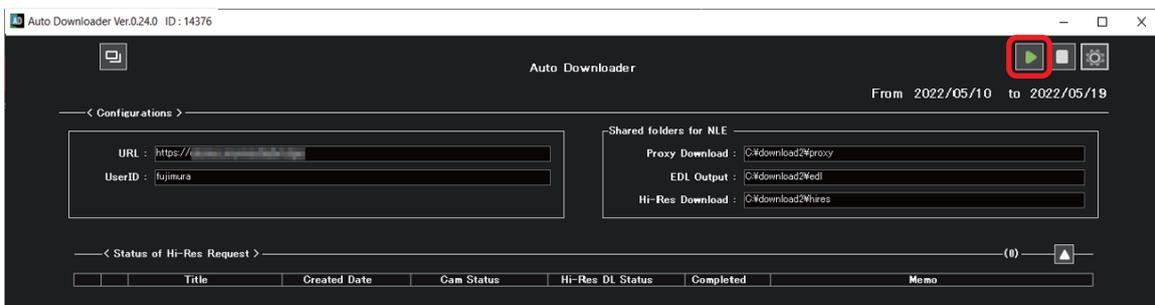
4 [Download Folder] にチェックを入れ、ファイルの保存先を指定する。



5 必要に応じて、その他の項目も設定し、[OK] をクリックする。

- その他の設定項目について詳しくは、Auto Downloader の操作説明書を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloader

6  (開始) をクリックする。



- 設定を変更する場合は、 (停止) をクリックしてから行ってください。

Auto Downloader Lite のセットアップ

Auto Downloader Lite をインストールするパソコンをネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

STEP 1 : Auto Downloader Lite のインストール

1 パソコンの Web ブラウザから次の URL にアクセスし、インストーラーをダウンロードする。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloaderlite

2 インストーラーを起動し、画面に従って Auto Downloader Lite をインストールする。

- 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloaderlite

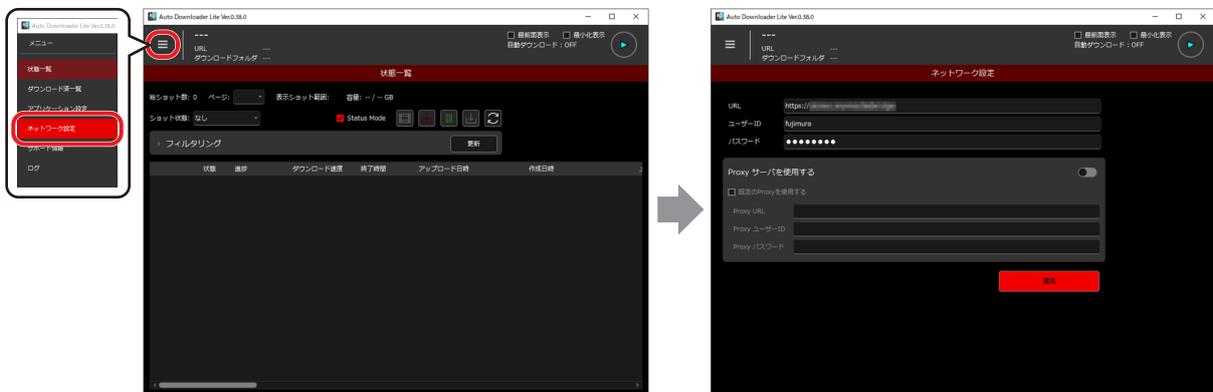
STEP 2 : Auto Downloader Lite の初期設定

管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

一度設定した内容は保存されるため、次回から設定する必要はありません。

1 Auto Downloader Lite を起動する。

2 ハンバーガーメニュー(☰)から[ネットワーク設定]を選択し、管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードを入力する。入力後に [適用] をクリックする。



3 ハンバーガーメニュー (☰) から [アプリケーション設定] を選択し、[ダウンロードフォルダ] にチェックを入れてファイルの保存先を指定する。必要に応じて、その他の項目も設定し、[適用] をクリックする。

- その他の設定項目について詳しくは、Auto Downloader Lite の操作説明書を参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_autodownloaderlite



4 開始ボタン (▶) を長押しして開始する。



NOTE

- 設定を変更する場合は、停止してから行ってください。

Streaming Player のセットアップ

Streaming Player をインストールするパソコンをネットワークに接続したうえで、次の手順に従ってセットアップしてください。

STEP 1 : Streaming Player のインストール

1 パソコンの Web ブラウザから次の URL にアクセスし、インストーラーをダウンロードする。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_streamingplayer

2 インストーラーを起動し、画面に従って Streaming Player をインストールする。

- 詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download_streamingplayer

STEP 2 : Streaming Player の初期設定

管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードが必要です。

1 パソコンのデスクトップで Streaming Player アイコンをダブルクリックする。

2 管理者から通知された KAIROS クラウドプラットフォームの URL とユーザー ID、パスワードを入力する。

- 入力した URL は自動的に保存され、次回起動時に入力済み状態になります。
- [Save User ID] にチェックを入れると、ユーザー ID が暗号化した状態で保存され、次回起動時に入力済み状態になります。
- [Save Password] にチェックを入れると、パスワードが暗号化した状態で保存され、次回起動時に入力済み状態になります。

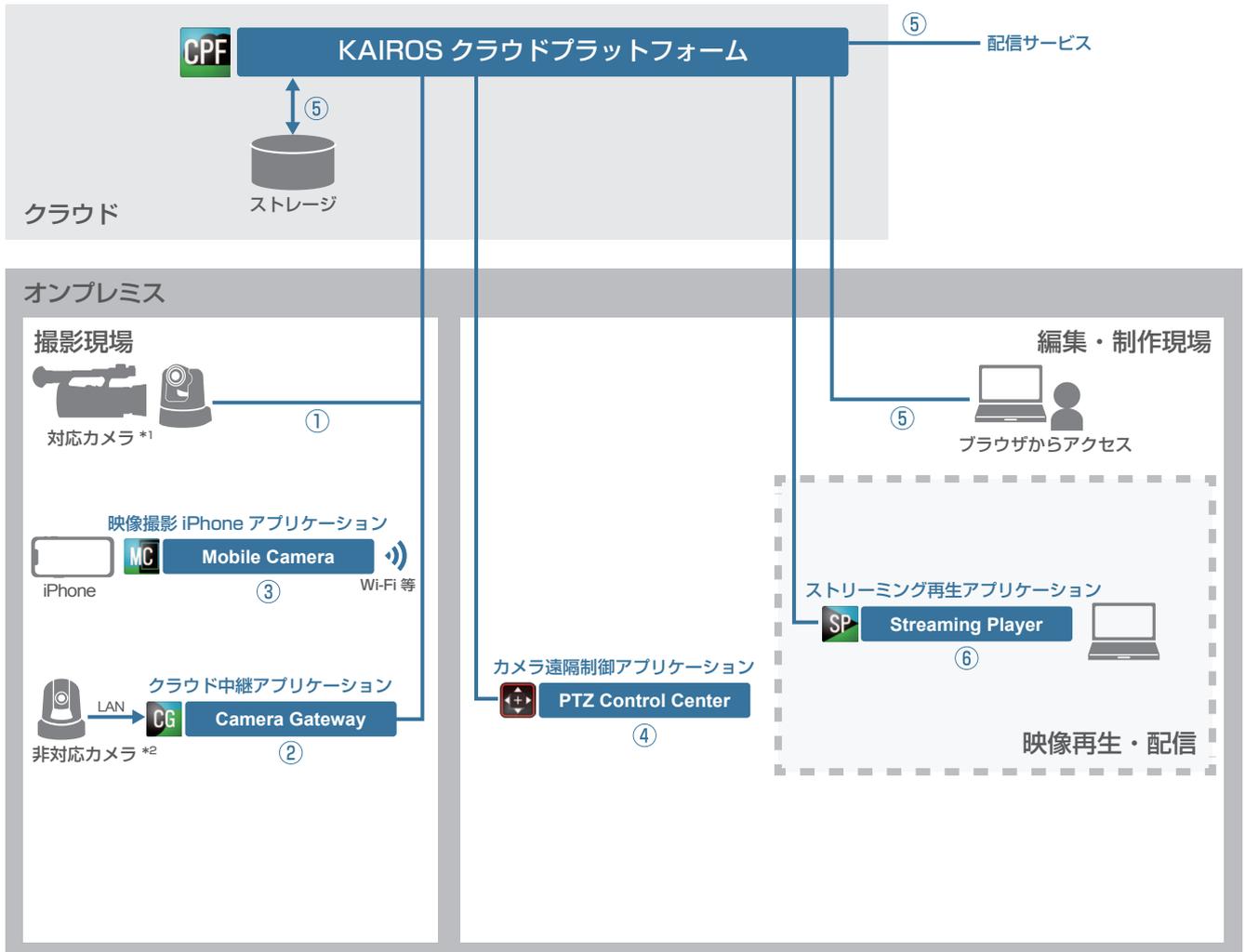
3 [Connect] をクリックする。

Stream List の取得が完了すると、メイン画面が表示されます。

第5章 ユースケースのご紹介

基本的なユースケースについて紹介します。

ユースケース：ライブ配信



*1：KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がある Panasonic 製カメラ

*2：KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がない Panasonic 製カメラ

■ ライブ映像の撮影と KAIROS クラウドプラットフォームへの映像配信

① Panasonic のクラウド対応カメラの場合：

カメラを KAIROS クラウドプラットフォームに接続し、撮影したライブ映像を配信できます。

② Panasonic のクラウド非対応カメラの場合：

カメラをパソコン用アプリケーション Camera Gateway 経由で KAIROS クラウドプラットフォームに接続し、ライブ映像を配信できます。

③ iPhone での撮影の場合：

iPhone 用アプリケーション Mobile Camera を使用し、カメラをインターネット上の KAIROS クラウドプラットフォームに接続し、ライブ映像を配信できます。

■ 遠隔地からのリモートカメラのパン・チルト・ズームなどの制御 (④)

遠隔地から、パソコン用アプリケーション PTZ Control Center を利用することで、KAIROS クラウドプラットフォームを介して、現場の Panasonic のリモートカメラのパン・チルト・ズームなどの制御が可能です。

■ ライブ映像の配信 (⑤)

KAIROS クラウドプラットフォームにおいて、カメラから配信されたストリーミング映像の配信先の指定や、配信の開始・停止などの操作ができます。また、カメラから配信されたストリーミング映像を KAIROS クラウドプラットフォーム上に記録することができます。

KAIROS クラウドプラットフォームでの設定および操作は、Web ブラウザからアクセスして行います。

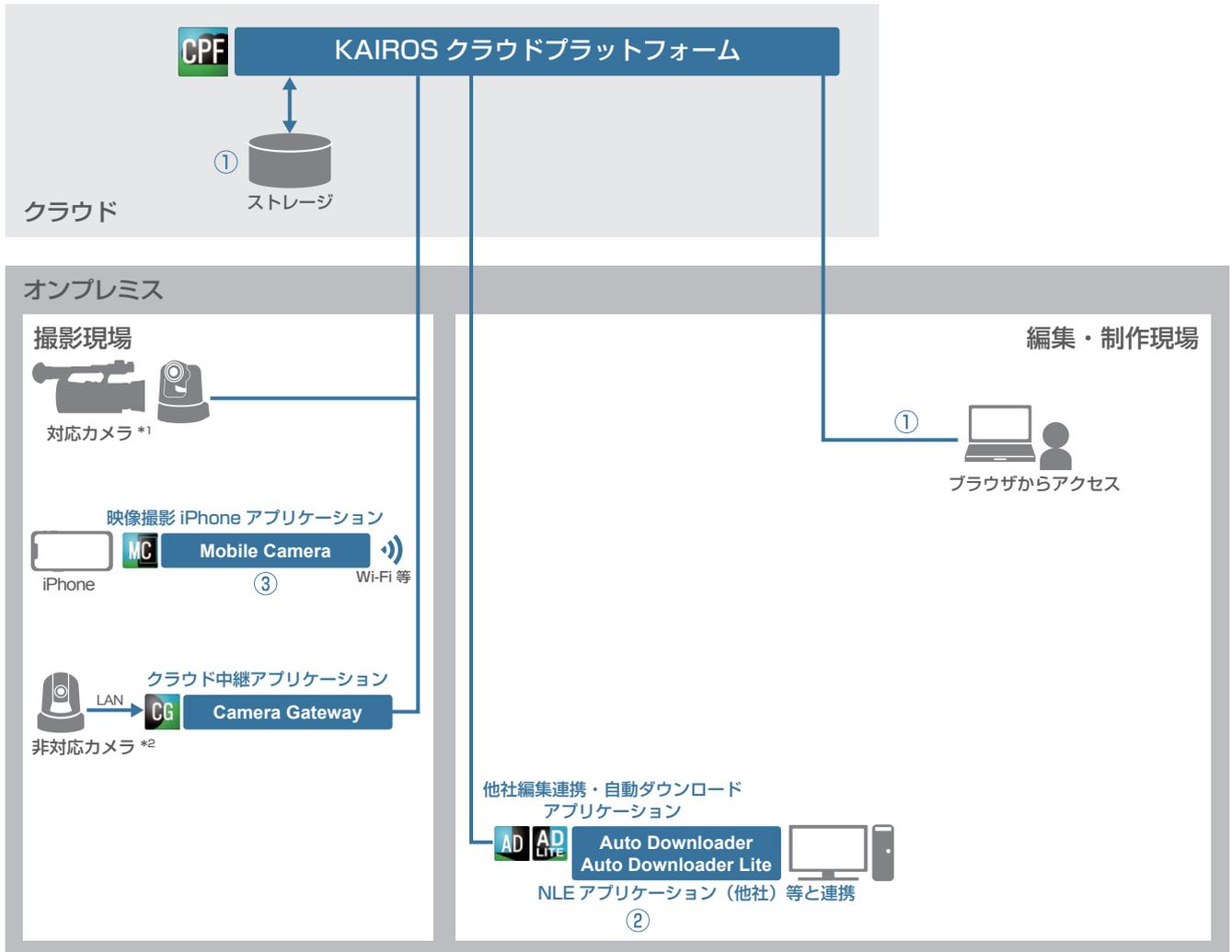
■ 配信映像のモニタリング

⑥ ストリーミング形式でのモニタリング

パソコン用再生アプリケーション Streaming Player を使用して、KAIROS クラウドプラットフォームで配信中の映像をパソコン上でモニタリングできます。

モニタリングしている KAIROS クラウドプラットフォームからのストリーミング映像は、Streaming Player がインストールされているパソコンで記録できます。

ユースケース：映像ファイルの記録・管理



*1：KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がある Panasonic 製カメラ

*2：KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がない Panasonic 製カメラ

■ KAIROS クラウドプラットフォームによる映像ファイルの記録・管理 (①)

現場のカメラから配信されたストリーミング映像を、KAIROS クラウドプラットフォームでファイル化し、管理できます。

また、現場のカメラで撮影されたファイル素材を、KAIROS クラウドプラットフォームに転送し、管理できます。

KAIROS クラウドプラットフォームでの設定および操作は、Web ブラウザからアクセスして行います。

■ Auto Downloader (Auto Downloader Lite) による映像ファイルの記録・管理 (②)

● パソコン用アプリケーション Auto Downloader (Auto Downloader Lite) を使用して、KAIROS クラウドプラットフォームから必要な素材ファイルを自動的にダウンロードできます。(手動でのダウンロードも可能です。)

● ニアライブ* 素材のダウンロードに対応し、撮影中の素材を編集で使用できます。

* ニアライブとは、撮影中の素材を自動で転送する機能です。

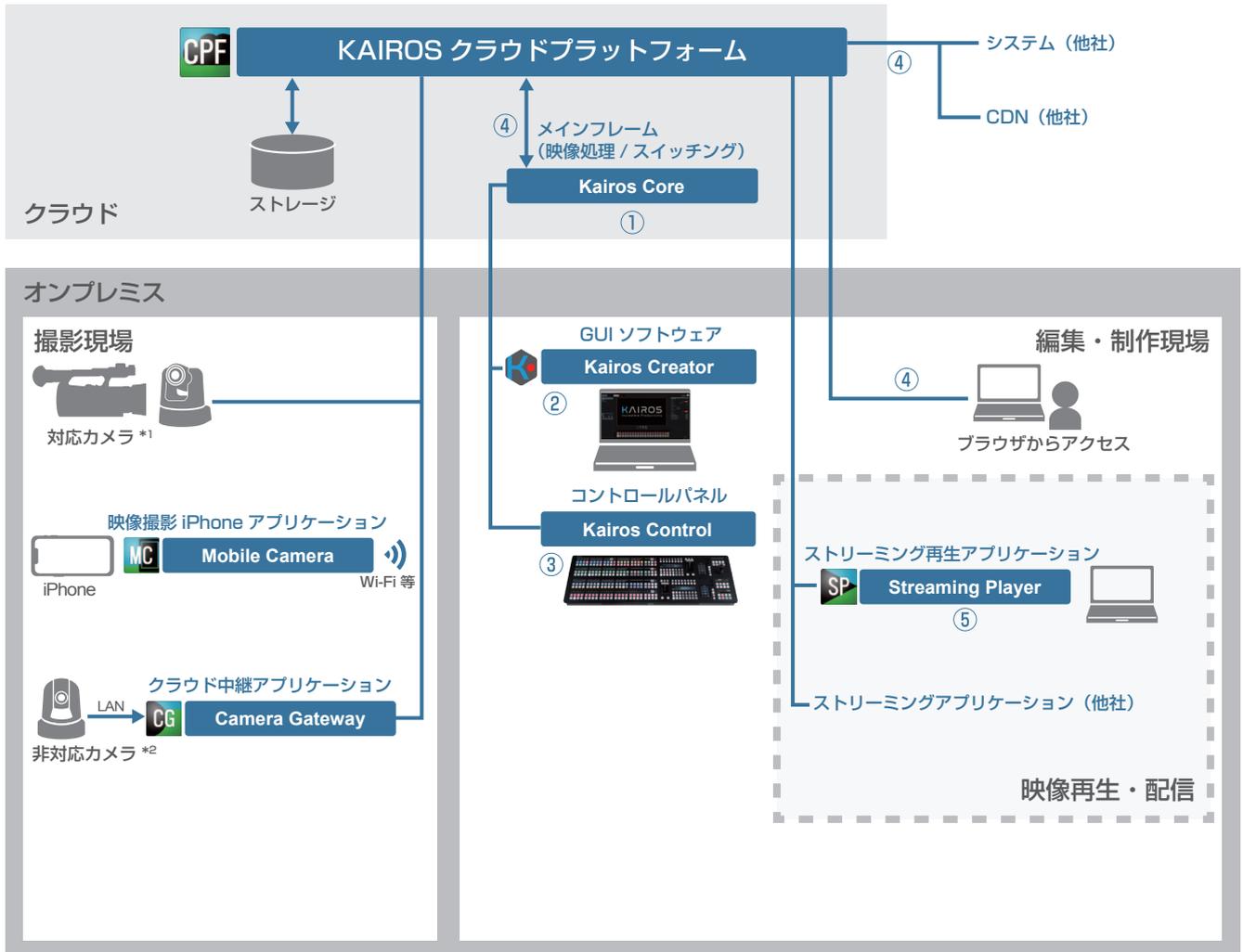
● 他社製 NLE アプリケーションのプロジェクトに、KAIROS クラウドプラットフォーム上の必要な素材を簡単に取り込むことができます。

■ クラウド連携用アプリケーションにおける映像ファイルの記録・管理 (③)

iPhone 用アプリケーション Mobile Camera では、撮影映像を MOV ファイルとして記録できます。その MOV ファイルを KAIROS クラウドプラットフォームに転送して、映像素材として管理できます。

また、iPhone 用アプリケーション Mobile Camera では、ニアライブ機能に対応しています。撮影しながら、撮影素材を KAIROS クラウドプラットフォームに転送し、記録管理することができます。

ユースケース：ライブ映像のスイッチング・映像素材のミキシング



*1 : KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がある Panasonic 製カメラ

*2 : KAIROS クラウドプラットフォームへの接続機能がない Panasonic 製カメラ

■ ライブ映像のスイッチング、映像素材のミキシング操作 (①、②、③)

クラウド上に映像処理 / スイッチング機能を持つ Kairos Core を装備しています。*

GUI ソフトウェアの Kairos Creator や、コントロールパネルの Kairos Control を KAIROS クラウドプラットフォームに接続して、Kairos Core の制御を行い、ライブ映像のスイッチングや、映像素材のミキシングなどをリモートで行うことができます。

■ 映像処理 / スイッチング映像の配信 (④)

KAIROS クラウドプラットフォームにおいて、Kairos Core で映像処理 / スイッチングされた映像を指定した配信先へ配信したり、配信を開始・停止したりなどの操作ができます。

KAIROS クラウドプラットフォームでの設定および操作は、Web ブラウザからアクセスして行います。

■ スイッチング映像のモニタリング

⑤ ストリーミング形式でのモニタリング

パソコン用再生アプリケーション Streaming Player を使用して、KAIROS クラウドプラットフォームで配信中の映像をパソコン上でモニタリングできます。

Panasonic Connect Co., Ltd.

Web Site (Global): <https://pro-av.panasonic.net/en/>

(Japan): https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022